

工夫.2 皆勤賞表彰の取り組み



古民家のいろは、一般的な民家のあすなる

【紹介者】

株式会社 いきいき介護

大将 村上 岳史



それぞれの個性を生かした「いろは」と「あすなる」

株式会社いきいき介護では、愛媛県松山市でデイサービス民家「いろは」「あすなる」という2ヶ所の小規模デイを運営しています。細かく目が行き届き、個別対応が可能な小規模の環境が、集団でのレクリエーションが苦手な男性、認知症のあるお客様、体操や機能訓練などを集中的に実施したいお客様に支持されています。

いろはは、古民家を活用し、あすなるは、最近の家を活用しており、2つのデイサービスには、それぞれの建物にも個性があり、事業所の特色と自主性を尊重しています。制服もそれぞれの事業所の個性に合わせたものになっています。代表者も施設長・管理者・所長などのお客様との距離を感じる役職ではなく、居酒屋のように「大将」と役職名を名乗り、身近な間柄を感じ

ていただける工夫をしています。

また、会社の理念を「快」とし、お客様の快を常に探求することを最優先として、従来のデイサービスのカタチに囚われず、海釣りに出かけたり、温泉に行ったりなど、一人ひとりの快をご提供する取り組みをさまざまな形で実践しています。平成25年の記録的な猛暑にもかかわらず、変わらずデイをご利用いただいたお客様に感謝の気持ちを伝えようと皆勤賞という取り組みを始めました。

この皆勤賞には、同じ年の4月ごろより、デイを利用すること事態に何か楽しみは作れないか？ ご利用への感謝の気持ちを伝える方法はないか？ ラジオ体操のスタンプのように目に見えてわかりやすい方法はないか？ 来ることで1ピースずつ埋ま

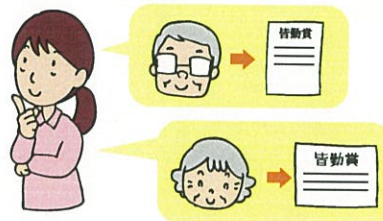
る集団で作成する壁画のような取り組みはどうか？などの事業所のお客様への想いが形となったものです。検討を重ねた結果、継続してご利用されることを称え、感謝の気持ちを伝えるため、平成25年9月よ

り実施を開始しました。

具体的には、感謝の気持ち＝粗品、称える＝賞状をお渡しさせていただくことにしました。

皆勤賞の表彰について

皆勤賞は、提供表に予定されている利用日または、それ以上の回数、ご利用をいただいた方を対象としています。賞状は、それぞれのお客様の個性に合わせ、事業所ごとにオリジナルのものを作成しました。



効果

現在、実施し始めて数ヶ月ですが、「この年になって賞状がもらえるとは思わなかった！！」「帰って家族に自慢します！」「額に入れないかな～。ありがとう！」と喜んでいただいています。

介護を受け、他人に迷惑をかけていると思いがちなお客様が、称えられることを自分がしたという満足感、「快」を実感していただく、ご家族も、それを一緒に称えていただくことで、積極的な利用につながり介護負担を軽減することができます。

寒い冬を迎え、デイのご利用を控える傾向が強くなるこの時期にお休みを軽減し、

元気に冬を乗り切っていただく一つの目標になればと思っています。また、認知症などの症状により、閉じこもりがちの方に対して「皆勤賞を目指しましょう」というお誘いときの一声に有効だと考えています。



表彰に驚き、喜ばれるお客様



事業所ごとに個性のある「賞状」



賞状手に喜ばれるお客様